

様式第四

土石の堆積に関する工事の許可申請書				
① { 第 12 条第 1 項 } 宅地造成及び特定盛土等規制法 第 30 条第 1 項 の規定により、許可を申請します。 令和●年●月●日 浜松市長 殿 ② 申請者 氏名 ●●株式会社 代表取締役 ●●		③ ※手数料欄		
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	浜松市中央区元城町●● ●●株式会社 (別紙参照)	④	
2	設計者住所氏名	浜松市浜名区貴布祢●● ●●測量設計事務所 ●●	⑤	
3	工事施行者住所氏名	浜松市天竜区二俣町二俣●● 有限会社●● 代表取締役●●	⑥	
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	浜松市浜名区細江町気賀●● (緯度：34 度●●分●.●秒、経度：137 度●●分●.●秒)	⑦	
5	土地の面積	700.00 平方メートル	⑧	
6	工事の目的	ストックヤード	⑨	
7 工 事 の 概 要	イ 土石の堆積の 最大堆積高さ	5.00 メートル	⑩	
	ロ 土石の堆積を行う 土地の面積	1,000.00 平方メートル	⑪	
	ハ 土石の堆積の 最大堆積土量	2,000.00 立方メートル	⑫	
	ニ 土石の堆積を行う 土地の最大勾配	2/10		
	ホ 勾配が十分の一を 超える土地における 堆積した土石の崩壊を 防止するための措置	構台を設置	⑬	
	ヘ 土石の堆積を行う土地 における地盤の改良 その他の必要な措置	砂質土の敷き均し及び締固め	⑭	
	ト 空地の設置	番 号	空地の幅	
		1	4.00 メートル	⑮
		2	6.00 メートル	
チ 雨水その他の地表水を 有効に排除する措置	空地の外側に側溝を設置	⑯		
リ 堆積した土石の崩壊に 伴う土砂の流出を 防止する措置	鋼矢板を設置 (番号①、高さ 3m、延長 5m)	⑰		

記入方法

- ①【対象規定】盛土又は切土をする土地が第 12 条第 1 項（宅地造成等工事規制区域）と第 30 条第 1 項（特定盛土等規制区域）のどちらに該当するか確認し、該当しない規定は消してください。なお、二種類の規制区域にまたがる場合には、第 12 条第 1 項の規定としてください。
- ②【申請者】工事主が申請者となります。（工事主とは、工事の請負契約の注文者又は自ら工事をする者となります。）法人であるときは、法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。代理人が申請する場合には、代理人名も記載してください。
- ③【手数料】記入は不要です。
- ④【工事主住所氏名】工事主が法人であるときは、工事主の住所氏名のほか、法人役員（会社法その他の法人の根拠法において規定する役員全員）の住所氏名を記入してください。
- ⑤【設計者住所氏名】設計者の住所氏名を記入してください。
- ⑥【工事施行者住所氏名】工事施行者が申請時点で確定せず未定とする場合は、工事着手までに工事施行者の能力を証する書類（登記事項証明書、建設業許可通知書等）を提出し、工事施行能力に係る審査を受けてください。
- ⑦【土地の所在地及び地番】所在地及び地番については、「5 土地の面積」に記載する土地の地番を全て記載してください。（記入欄に書ききれない場合は、「外×筆」と記載し、別紙により記載いただいて構いません。）また、緯度経度については、土石の堆積を行う高さが最大となる箇所を代表地点とし、緯度及び経度を度分秒で小数点第 2 位以下を切り捨て、小数点以下第 1 位まで記載してください。緯度・経度は浜松市盛土・開発マップ(下のリンク参照)から計測ができます。（例：浜松市役所 緯度 34 度 42 分 38.8 秒、経度 137 度 43 分 35.1 秒）
(<https://experience.arcgis.com/experience/fc5c4dd7939a4d79bdb8fff2c6218f24>)
- ⑧【土地の面積】工事をする土地及び工事に関連する土地(工事に関連して一体的に利用する土地)の面積について、小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記載してください。
- ⑨【工事の目的】土石の堆積が特定の工事に付随する場合には、その工事名と期間について記載してください。（例）●●●●建設工事に伴う土石の堆積 令和●年●月●日～●年●月●日
- ⑩【土石の堆積の最大堆積高さ】土石の堆積を行う最大の高さについて、小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記載してください。
- ⑪【土石の堆積を行う土地の面積】土石の堆積を行う最大の面積について、小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記載してください。
- ⑫【土石の堆積の最大堆積土量】土石の堆積を行う最大の土量について、小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点第 2 位まで記載してください。
- ⑬【勾配が十分の一を超える土地における堆積した土石の崩壊を防止するための措置】原地盤の勾配が 1／10 を超える箇所への構台等の設置について記載してください。
- ⑭【土石の堆積を行う土地における地盤の改良その他の必要な措置】地表水等による地盤の緩み等が生じるおそれがある場合は、実施する地盤改良等の措置を記載してください。

	ス 工事中の危害防止のための措置	落石防止柵の設置		
	ル そ の 他 の 措 置			
	ヲ 工事着手予定年月日	令和●年 ●月 ●日		
	ワ 工事完了予定年月日	令和●年 ●月 ●日		
	カ 工 程 の 概 要	別紙工程表のとおり		
8	そ の 他 必 要 な 事 項			
※受 付 欄		※決 裁 欄	※許可に当たって付した条件	※許可番号欄
年 月 日				年 月 日
第 号				第 号
係員氏名				係員氏名
〔注意〕 1 ※印のある欄は記入しないでください。 2 申請者、1 欄の工事主、2 欄の設計者又は3 欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。 3 1 欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。 4 3 欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。 5 4 欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。 6 7 欄りは、鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等についてそれぞれ番号、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。 7 8 欄は、土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。				

- ⑮【空地の設置】平面図等で位置を確認できるよう番号を付し記載してください。数が多い場合には別紙としてください。数値は、小数点以下第3 位を切り捨て、小数点第2 位まで記載してください。堆積する土石の高さが5 メートル以下である場合は当該高さを超える幅の空地、堆積する土石の高さが5 メートルを超える場合は当該高さの2 倍を超える幅の空地が必要となります。空地を設けることができない場合は、⑰の措置の記載が必要となります。
- ⑯【雨水その他の地表水を有効に排除する措置】地表水を適切に排除するための側溝の設置等について記載してください。
- ⑰【堆積した土石の崩壊に伴う土砂の流出を防止する措置】必要な空地を設けることや立入り防止措置を講ずることができない箇所に実施する鋼矢板の設置等の措置について記載してください。鋼矢板等を設置するときは、当該鋼矢板等について平面図等で位置を確認できるようそれぞれ番号を付し、種類、高さ及び延長を記入し、それ以外の措置を講ずるときは、措置の内容を記入してください。
- ⑱【工事中の危害防止のための措置】工事中の土砂・雨水流出防止、工事車両の出入・公道側の作業による交通事故防止の方策等について記載してください。
- ⑲【その他の措置】他の欄に記載しているもののほか、特筆すべき措置を実施する場合は記載してください。
- ⑳【工事着手予定年月日】許可取得後直ちに工事に着手する場合は、「許可取得後直ちに」と記載してください。
- ㉑【工事完了予定年月日】許可期間は最長5 年です。この場合は、「許可の日から5 年を経過する日」と記載してください。
- ㉒【その他必要な事項】土石の堆積に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。